

関西学院大学

# 神学部

キリスト教伝道者コース  
キリスト教思想・文化コース



神学部紹介動画を  
下記QRコードから  
視聴できます



関西学院大学 入試課 TEL.0798-54-6135  
神学部 TEL.0798-54-6200

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

<http://www.kwansei.ac.jp>



School of Theology  
Veritas liberabit vos

キリスト教への理解を深め、  
人間と社会の本質を探る



神学部でこんなことを学びたい



梅崎さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます



牧師になりたい

キリスト教伝道者コース: 梅崎須磨子さん



留学に行きたい

キリスト教音楽や芸術に興味がある



結婚式など冠婚葬祭に興味がある



社会に奉仕できるようにになりたい

キリスト教伝道者コース: 阪田怜士さん



阪田さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます



様々な思想とキリスト教との関係について学んでみたい

キリスト教思想・文化コース: 野手咲良さん



野手さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます



聖書をヘブライ語で読んでみたい



教師(キリスト教主義学校など)になりたい

キリスト教思想・文化コース: 星匡浩さん



星さんのインタビュー動画を下記QRコードから視聴できます



日本の宗教に興味がある

# 神学部

School of Theology

キリスト教への理解を深め、世界・社会・ヒトの本質を探る

「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」(関西学院創立時制定の「憲法」第二款「目的」)ことを理念とし、神学研究の発展に努め、また伝道者の育成ならびに広くキリスト教の思想および文化の理解を求めて、キリスト教神学の基礎と専門領域双方において教育を行います。その目標とするところは、人間を自然と社会との関わりにおいて考察し、そこにある問題を探り出し、キリストの福音に照らして今日における生の意味やその規範を模索しつつ、そこで見出したものを他者に伝え、社会に仕える人材を育成することにあります。



## ● キリスト教伝道者コース

「伝道者養成」という関西学院の伝統を受け継ぎ、学術的な研究を深めると共に、より実践的なカリキュラムを通して、キリスト教の伝道者としての深い専門知識を身につけることを目指しています。本コース並びに大学院を修了したものは、本学部に教職養成を委嘱している日本基督教団の補教師検定試験における一部試験免除を受けることができます。

## ● キリスト思想・文化コース

神学部という「生きたキリスト教」の中でキリスト教を思想や文化といった切り口で学ぶ可能性を提供し、学生の多様な関心に応えています。総合大学の利点を生かし、学問領域の枠を越えて、キリスト教と他の分野との対話が行なわれるカリキュラムも用意されています。

入学前の  
イメージ

- 牧師になるための学部というイメージがある
- キリスト教を信仰していないので自分とは無縁だ
- 少人数なので、友人関係を築けるかが心配
- 聖書を読んだこともないので、授業について行けるかが心配
- 「宗教」のイメージが強くて入りづらい
- 神学部ってなにをしているのかわからない
- 一般企業への就職状況などが気になる

入学の  
きっかけ

- 教会の牧師先生や先輩からの紹介
- 高校でキリスト教について学んだから
- 将来牧師になりたいから
- 学部ホームページを見て
- 自分の知らない分野だから
- 映画や音楽とキリスト教に関係性を感じたから
- 宗教に興味があったから
- 世界文学や思想にキリスト教が与えた影響について学びたかったから
- 外国で仕事がしたいからその文化の背景にある思想・宗教を学びたい
- ラテン語やヘブライ語など多様な言語に興味があった

## 在学生の声

- 牧師になりたい
- 留学に行きたい
- キリスト教にまつわる音楽や芸術に興味がある
- 学校の先生(教師)になりたい
- 神学部での学びを活かして就職したい
- 様々な文化や思想とキリスト教について学びたい
- 社会で奉仕できるようになりたい
- 日本の宗教に興味がある
- 大学院に進学して研究をしたい



**神** 学部は伝道者を養成することを目的として、関西学院の創立と同時に設立されました。それは現代においても理念として継承され、伝道者養成を目指す「キリスト教伝道者コース」を設けています。

一方、芸術・文化・思想を学ぶ「キリスト教思想・文化コース」は、これまでに聖書に触れたことがない学生にも開かれています。初年次に聖書を始めとする基礎的な内容を扱う入門科目を配置しています。基礎的なことから学んでいけるため、専門的な知識が無くても全く問題ありません。

また、大学の学部ですので、聖書を歴史的な文書として学問的に読むことを目指しています。歴史的・社会的な背景を学ぶことで聖書の記述をよりクリアに理解し、そこから、現代に生きるわたしたちに対して問いかけるメッセージを読み取ることもできます。

キリスト教を通じて世界の歴史や現状をのぞいてみましょう!

**知** 人からの紹介や、自身の経験上、あるいは、高校までの授業の中で興味があったなど、入学を決意した理由は様々です。神学という聞きなれない言葉に不安を抱いて入学した人も少なくありません。しかし、学びを進める中で、その不安は払拭されます。問題は『**自分が大学の4年間で何をするか**』です。

きっかけは些細な事であっても、自身が行動に移すことによって多くの可能性が生まれます。少しでも興味・関心がわいた時、それは自分の可能性を開花させるための一歩になるはずです。

キリスト教を通じて自分の可能性を広げてみましょう!

**神** 学部から、一般企業などへ就職することももちろん可能です。卒業後の進路は多岐に渡ります。4年間をどう過ごすかによって、神学部での学びは興味深いものになるのではないのでしょうか。

一つの経験として異文化交流も考えられます。世界の多くの国や人が信仰するキリスト教を学ぶことは異文化を学ぶことに繋がります。しかし、実際に赴き、体感することで学ぶことも多くあります。関西学院大学では多くの留学プログラムがあり、神学部生も参加しています。2週間～4週間で行われる語学研修、3ヶ月程度で行われる中期留学、半年～1年間で行われる交換留学、また神学部独自のプログラムも展開しています。各プログラムの参加者は海外での経験を神学部での学びに活かし、卒業後のキャリアを形成しています。

複数分野専攻制(MS)を利用し、学部の枠を超えて、他学部の授業を系統的に学ぶことで幅広い知見と専門性を備えることができます。神学部での学びを基礎に、自分の興味・関心に従ってさらに高度な研究にチャレンジ(大学院進学)することができます。

キリスト教を基盤にして、世界に飛び出していきましょう!

## 神学部でこんなことが学べる

### 『礼拝』について学びたい

教会・教派によって礼拝形式が異なる理由について学ぶことができます。伝統的に受け継がれてきた礼拝順序や洗礼の仕方は聖書に基づいており、また、礼拝の色やシンボルにも必ず理由がある事に気付くことができます。

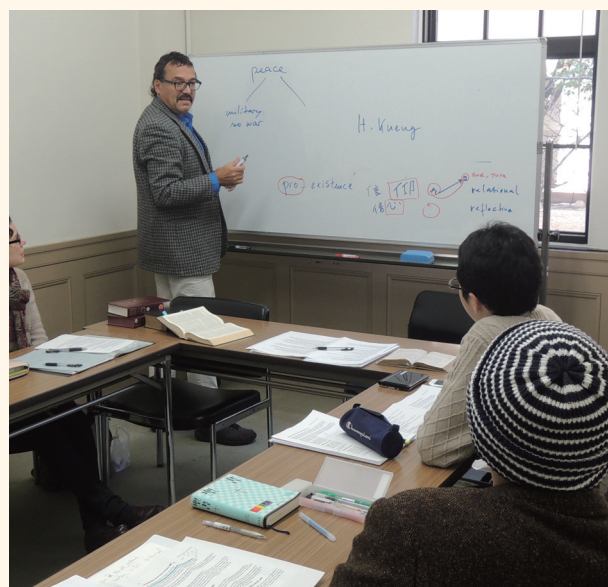
これまで礼拝や説教について固定観念に縛られて理解していたのかもしれませんが。新たな知見を備えることによって、事柄の本質を見極め、問い直すことで理想を実現できる力を養うことができます。



### 現代に生きる「神学」!

人間が分裂や競争、大惨事や格差社会の中で、人間にとって本当に大切なものをしっかりと持ちつつ生きるためにはどうすればいいのかが問われています。神学部では、聖書、キリスト教の歴史・思想・文化、教会、宗教について学ぶことを通して、現代に必要な知を構築する力を養うことができます。

例えば、人間の命の問題。聖書は何を語っているのか、歴史の中でどのように理解されてきたのか、時代の変化の中でどういった思想が生まれ、キリスト教芸術はどう表現し、教会は、そしてその他の宗教は現在「命」についてどんなメッセージを発信しているのかを学ぶことができます。



### ディアコニア・プログラムにチャレンジ!

「ディアコニア」とは、ギリシャ語で「奉仕」を意味し、新約聖書の中で使われている言葉です。聖書に起源を持つこの言葉は、これまでキリスト教の歴史の中で、隣人への奉仕や愛(社会福祉)を導き発展させてきました。「ディアコニア学」は神学の重要な専門分野です。

神学部では「ディアコニア・プログラム」を立ち上げ、キリスト教の人間理解、牧会カウンセリング、キリスト教社会福祉思想やその事業の実態を学び、社会福祉関連施設で実習を行うことを通して、自分自身を知り、人に仕えることのできる人材の育成に取り組んでいます。



## 卒業生に聞く、神学部で学んだこと

### 新しい視点を与えてもらった

様々な教派や聖書を読んだことのない仲間との出会いがあった。彼らとの出会いは自身の固定観念の中に新しい視点を生んでくれました。それは、教会での働きの中でも生かされています。

牧師を目指す人、聖書に触れたことの無い人、様々な人が同じ環境のなかで学びあうことで、新しい視点が生まれ、新たな価値観が育まれていきます。互いに理解し、尊重し合えるのは少人数でもある神学部の特徴です。



キリスト教伝道者コース  
梅崎 須磨子さん

### キリスト教や神学を通して新しい価値観・可能性を見つけることができた

入学当初は自身の将来についてうまく考えることができませんでした。キリスト教とはどういったものを学んでいく内に、人に対して何かをしていくこと、愛をもって行うことが大事なんだと学びました。なじみの無かったキリスト教や神学と出会い、新しい価値観・可能性を見つけることができました。

漠然と入学を決意し、卒業後のイメージもわかりませんでした。いつか教員となる事が目標となりました。そのため自身の苦手意識を克服すべく、神学部学生自治会の執行委員長を務めるなど、神学部での仲間と共に過ごし切磋琢磨することで夢を叶え、現在も日々奮闘する毎日を送っています。漠然としたイメージで入学した神学部での経験が将来の可能性に繋がることとなりました。



キリスト教思想・文化コース  
星 匡浩さん

### 神学部で学んだ姿勢が社会人となった今でも自分に生きている

在学時、ゼミでヴォーリス建築を学びました。関西学院で活かされるヴォーリスの建築思想を調べていく内に、聖書の詩編の一節に含まれている箇所の思想が上ヶ原キャンパスに反映されていることがわかり、興味深く、面白みを感じました。自ら新しい事に興味を持って取り組む姿勢、本質的な所は社会人になった今でも役立つ、当時の学生生活は有意義な時間だったと感じています。

ゼミナールでの学びをきっかけに、キャンパス設計の本質が見えてきました。単に『綺麗だな』で終わることなく、本質を見極めることでその美しさの意味を見出すことができます。社会や自身の課題も同様に、本質を捉えることで、これからの自身の糧となるのかもしれません。



キリスト教思想・文化コース  
福田 健吾さん